

30年以内、震度6弱以上の確率

横浜、大阪など上昇

地震調査委

政府の地震調査委員会
は21日、2009年1月
1日を基準に今後30年以
内に震度6弱以上の地震
の揺れに見舞われる確率
を全国各地でまとめて色
分けした「全国地震動予
測地図」を公表した。05
年の初公表から毎年更新
してきた地図を大幅に刷
新。地形をきめ細かくし
て地盤の揺れやすさも考
慮したことで、地域によ
っては確率が大幅に見直
された。

都道府県庁所在地の市

役所ごと(東京は都庁)
にみると、千葉(64%、
08年は27・2%)や横浜
(66・7%、同32・9%)、
大阪(59・5%、同23%)、
奈良(67・1%、同16%)
などで大幅に上昇した。
東京は08年の11・4%か
ら19・7%になった。

源近くの揺れの様子も再
現したことが、数字の大
幅な変更になった。08年
で82・3%だった甲府が
55・3%になるなど、下
方修正もあった。

東海地震や東南海、南
海地震が切迫していると
される東海から四国にか
ける確率が依然高い。
静岡(89・5%)や津(85
・2%)が際立つ。

政府は、今回公表した
詳細版によって、自治体
の対策を一段と促すこと
もに、住民の意識向上
につなげたいとしている。

地図は防災科学技術研
究所のホームページ(ht
tp://www.j-shis.bos
ai.go.jp/)で見ることが
できる。